

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	10-3	
PDCA	主要事業名	災害対策事業	部課名	総務部防災安全課	担当	渡邊	
					内線	287	
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 1 - 1 単位施策： 防災・減災 全体事業期間： 令和 5年度 ~ 5年度 全体事業費等： 10,209 千円 会計 一般会計 歳出科目： 08.01.05.02.01						
	事業概要等	事業概要： 市民の生命及び財産を守るため、地域の防災力強化を強化し、災害による被害の軽減を図る。防災訓練や防災キャンプでの啓発を通じ、市民一人一人の防災意識の向上を図る。また、市内の先進的な避難所運営の取り組み事例を普及し、市全体の防災力強化に繋げる。					
		事業目的： 自主防災組織の活性化や家庭の備えを高めていくための支援を行う。					
		事業内容： 自主防災会の育成として、自主防災訓練の支援や防災資機材整備へ助成を行う。また、訓練等を通じて、市民の防災意識の向上や防災知識の普及を図る。					
	問題点・ 地域と連携して避難所の開設・運営訓練を提案し、災害時に円滑な避難所運営課題等： 営ができるように支援していく必要がある。						
	予算額	主要事業とする理由					
	10,209 千円	地域防災力の向上を推進する上での主幹事業であるため。					
	財源内訳	得られる成果					
	市費 10,209 千円	自主防災活動への支援や防災リーダーの養成をすることで、地域防災力の強化、市民全体の防災意識の向上に繋がる。					
	国費 0 千円						
県費 0 千円							
その他 0 千円							
	目標値や目指すべき状態	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位		
	住民主体の避難所開設訓練等実施場所数	実績値	4	6	—	避難所	
		目標値	4	5	7	避難所	
	訓練参加後に防災意識が向上した市民の割合	実績値	—	—	—	%	
		目標値	—	—	80	%	
	その他	実績値					
		目標値					
D 実績値	決算額	得られた成果					
	9,579 千円	防災キャンプで、取引先企業のブース出展による災害食の食比べや、防災団体による防災運動会の実施等、今までの聞くだけ・見るだけの受動的な訓練から、体験型の能動的な訓練に変更し、参加者の防災意識の向上及び防災安全課職員意識改革に繋げることができた。また、総合防災訓練では、住民主体による避難所開設訓練や、応急救護所開設訓練、協定先企業・団体等のブース出展ゾーンを設け、地域防災力の強化及び協定先企業・団体等との連携強化に繋げた。					
		成果指標		令和5年度	単位		
		住民主体の避難所開設訓練等実施場所数	実績値	7	7	避難所	
			目標値	7	7	避難所	
	訓練参加後に防災意識が向上した市民の割合	実績値	100	100	%		
		目標値	80	80	%		
C 課題の整理	事業の評価・課題	<b>B</b> 総合防災訓練や自主防災会連絡会を通じて、先進事例や訓練のやり方、進め方について水平展開していった結果、住民主体の避難所開設訓練等実施場所数の目標値を達成することができた。今後も住民主体の避難所開設訓練が継続的に実施していけるように支援していく必要がある。大規模な災害に備えて、講座を受ける等の受動的な訓練から、体験型の訓練等の能動的な訓練を実施し、市民一人ひとりが防災減災について自分事として考えるよう啓発していく必要がある。					
A 今後の課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	<b>改善推進</b> 地域防災力のさらなる向上のために、総合防災訓練の開催、自主防災訓練への協力を引き続き行い、自主防災組織の活性化を図る。併せて、各中学校区に1か所以上避難所運営委員会が組成できるように進める。また、市民の防災意識向上のため、誰もが気軽に参加し、楽しみつつ学べるようなコンテンツ（防災フェスタ等）を計画し、家庭内備蓄の見直しや家具転倒防止器具の取り付け等の啓発を進める。					
	観点別評価	必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	⑧受益者負担適正化余地	ない
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない			

予算見積書で活用

目標項目（予算計上時に作成）

主要施策の成果報告書で活用

評価項目（決算時に作成）